

犯罪や非行をした人の 立ち直りを支える

保護司

を知っていますか？

保護司とは、犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支える民間のボランティアです。刑務所や少年院を退所してから、保護観察期間中のサポートを行っています。月に2回以上の面談を通して、「立ち直るために必要と思われる事項が守れているか」「生活や健康状態は良好か」などをチェック。さまざまな相談に応じながら、社会復帰までの道のりを支えます。現在、安芸高田地区保護司会には19人の保護司が在籍。「犯罪のない安芸高田市」を目指して活動中です。今回は、保護司の活動や平成30年にクリスタルアージュ4階に開設した「安芸高田地区更生保護サポートセンター」などを紹介します。一緒に犯罪・非行のない明るい地域社会を築いていきましょう。

こんな活動をしています

安芸高田地区更生保護サポートセンター

毎週火曜日から金曜日までの13時から16時まで、保護司が常駐し、サポートセンターを開設しています。事務作業や面談が行われるだけでなく、生活に問題を抱えている方の相談窓口としても機能。引きこもりや親子関係など、「どこに相談したらいいかわからない」という悩みも一緒に考えます。家庭で抱え込まず、気軽に相談してください。

安芸高田地区更生保護サポートセンター ☎・📍42-1121



子どもたちへの啓発活動

保育所(園)・幼稚園・小学校・中学校・高校を訪問してリーフレットを配付し、子どもたちにも社会を明るくすることの意味を考えてもらっています。小中学生には作文コンテストの応募も依頼。子どもたちからは「あいさつをすることが大切」「小さな親切で高齢者や障害者とのつながりができた」など、明るい社会にするために子どもならではの目線で書かれた作文が数多く寄せられています。



街頭啓発活動

食料品店などで買い物帰りの市民の皆さんにリーフレットやキャンペーン用品を配布し、「社会を明るくする運動」への理解を呼び掛けています。



自主研修会の開催

活動報告を行ったり、学校・専門機関の方を講師に招いて情報の共有、問題や課題の解決に向けて研修を行ったりしています。

安芸高田地区保護司会

会長 橋詰 健さん

インタビュー

保護司として活動して12年。保護司になっただけでやりがい、これからのことを伺いました。



保護司になったきっかけを教えてください。

小学校の教員を定年退職した後、先輩の保護司に誘われたのがきっかけです。最初は活動内容を聞いて、とてもできないとお断りしていたのですが、先輩の熱い思いを知れば知るほど逃げられないなと(笑)。決断するのに1年かかりましたが、初めて勉強会に参加したとき、これはとてもやりがいのある仕事だと思い、意識が少しずつ変わっていきました。

どんなことを大切にしてサポートを行っていますか？

信頼関係を築くために、とにかく会話をすること大切にしています。教員の経験から、一人一人にきめ細かい対応が求められていると思います。また、立ち直るために必要なことは衣食住。これにつながる仕事のアドバイスを行うことがとても重要ですね。生活や心が安定すると再犯もなくなるはずですよ。

やりがいは何ですか？

保護観察期間が終わると私たちから連絡を取ることにはできないのですが、更生した方が結婚して子どもが生まれ、その子どもを連れて会いに来てくれた時はとてもうれしかったという保護司の話も聞きます。私自身も社員旅行のお土産をもらったり、頑張っている手紙をもらったりとうれしいことがたくさんあります。

安芸高田市の現状を教えてください。

10年ほど前は、1人の保護司が3人を担当している時代もありましたが、ここ数年は中高生の犯罪がゼロ。大人の犯罪も少なく、保護観察している方もいません。安芸高田市は安心安全な暮らしができる地域と言えると思います。

今後の活動について教えてください。

保護司一人一人が誇りを持って活動できる保護司会にしていきたいと思っています。また、安芸高田市に対しては再犯防止推進計画の策定を要望しています。行政と連携し、市民の皆さんと力を合わせながら、安心安全に暮らせる地域づくりに努めていきたいと思っています。



更生保護のマスコットキャラクター 更生ペンギンのホゴちゃん

7月は“社会を明るくする運動” ～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～ 強調月間です。



全ての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動で、今年で71回目を迎えます。一緒に「明るい社会」について考えてみませんか？

☎社会福祉課 社会福祉係 ☎お太助フォン 42-5615